



現在

= 65 = 

富士大橋 昭和36年1月15日



※富士大橋竣工は昭和35年8月。



富士大橋建設のために土地を提供

私は、昭和24年に現在の富士大橋のすぐ東側に嫁いできました。橋ができる前は、東海道本線の線路を渡るために、イトーヨーカドー東側の踏切（現在は地下道）まで、迂回しなければならなかったんです。当時、米は配給制で、私は子どもを連れながら、わざわざ迂回をしてその踏切を渡り、駅南にあった米屋に行きました。

昭和30年代に入り、市から、自動車が通る大きな橋をつくるという話を聞き、びつくりしたのを覚えています。富士大橋の建設のとき、私の家は現在の橋の下にあつたので、家を東側に移動し、おじいさんが「市の発展のためなら」と敷地の一部を快く提供しました。

橋が開通すると、晴れた日は橋の上から富士山がよく見えたため、写真を撮りにたくさんの方が訪れていましたよ。

また、自動車の通行量が一気にふえ、騒音や振動に困ったこともありましたが、今までこの地でも生活してきました。あれから50年。現在、耐震や舗装工事をしていきますが、これからも私たちの生活を守る丈夫な橋であってほしいですね。



開通当時から富士大橋
を見つめ続ける
松井 けいさん
(富士町)

こちら編集室

今回特集した町内会。小さいころから当たり前であって、町内の人同士は助け合うものだと思います、育ってきました。今は地元を離れ、アパート生活をしています。1歳の娘を連れて実家へ帰れば、散歩をする娘に町内のみんなが声をかけてくれ、今でも結びつきを感じます。でもそれは、私の親が築いてきたもの。今住んでいる町内でも、散歩をすれば私たち親子に声をかけてくれますが、その人の名前まではわかりません。今の私ができること。町内の一員として役割を果たし、新しい結びつきを築いていくことです。(け)

人口 261,653人 (前月比+72)
男 129,533人 (-7)
女 132,120人 (+79)
世帯 96,548世帯 (+60) 10月1日現在
編集・発行 富士市総務部広報広聴課
〒417-8601 静岡県富士市永田町1-100
☎0545-51-0123(代) ☒0545-51-1456


おしえて
コパルふじ
53-1111
受付時間
8:30~19:00